

山口県産業廃棄物税の活用等について

平成31年(2019年)3月

【税の効果検証結果等】

○ 産業廃棄物の状況

税導入による排出抑制効果と相まって、税導入前と比べ、排出量が約1割、最終処分量が約6割、それぞれ減少しています。(単位:千t)

	H15(税導入前)	H27	H27-H15	増減率
排出量	8,752	7,939	▲813	▲9.3%
最終処分量	766	333	▲433	▲56.5%
リサイクル率	45.3%	55.5%	+10.2% <small>増</small>	-

○ 排出事業者への意識調査の結果

「税制は効果的な産業廃棄物対策である」との回答が約8割となっています。

◇ 税制度の継続は妥当 78%

◇ 新たな税活用方法に期待 46%

「新技術等を活用した3Rの取組」や「後継の公共関与最終処分場整備」への支援等

○ 税収額の推移と活用状況

(単位:百万円)

年度	H16~20	H21~25	H26~30	H26	H27	H28	H29	H30	H31
税収額	1,245	1,114	1,153	230	235	241	221	227	186
使途(税活用事業)	749	773	860	216	122	214	166	142	265
環境インフラ整備の支援 ・東見初処分場:H20.11供用開始 ・新南陽処分場:H26.4供用開始	451	206	—	—	—	—	—	—	—
産業活動の支援 ・リサイクル施設整備補助:35件 ・処理能力の向上:185千トン/年	256	273	433	131	42	129	83	49	148
適正処理の推進 ・夜間・休日パトロール:約540回/年 ・不法投棄ホットライン通報:約60件/年	36	289	423	84	80	84	83	92	116
普及啓発 ・認定リサイクル製品数:152→329	6	4	4	1	1	1	1	1	1

※ H30…補正予算額、H31…当初予算額。「使途」:適正処理の推進 H29実績、その他 H16~29実績。

【これからの税活用の方向性】 第4期:2019(H31)~2023年度

◇ 「やまぐち維新プラン」(H30.10~)への対応

[産業維新] 次代を切り拓く成長産業発展プロジェクト

◎ 廃棄物の3Rや地域循環圏の形成など、次世代を担う資源循環型産業の強化

[生活維新] 快適な暮らしづくり推進プロジェクト

◎ フードバンク活動支援や不法投棄対策など、循環型社会づくりの推進

◎ 後継の公共関与最終処分場の整備の促進